



24福島県 46号
平成24年10月29日

各市町村スポーツ少年団本部長 様

財団法人福島県体育協会
福島県スポーツ少年団
本部長 星 本 文



第40回日独スポーツ少年団同時交流

派遣団員・指導者の募集について（依頼）

このことについて、別紙開催要項のとおり募集いたしますので、参加資格をご確認の上、ご推薦ください。

また、所定の活動単位の合計が20単位以上の団員も参加対象者となりますので、その趣旨等をご理解の上、推薦くださるようお願いいたします。

なお、指導者は福島県から派遣となります。派遣団員数は、東北ブロック各県で調整後、正式決定になることを申し添えます。

記

- 1 募集内容 別紙募集要項による
- 2 推薦の要件 帰国後、団員は福島県スポーツ少年団リーダー会に入会すること。
(入会している者は、その旨を申込書の現在の活動状況欄へ明記すること)
- 3 提出期限 平成25年2月1日（金）
- 4 提出先 福島県スポーツ少年団宛
- 5 提出書類
 - (1) 市町村スポーツ少年団派遣団員・指導者推薦一覧
 - (2) 申込書
 - (3) 活動調書・・・団員のみ
 - (4) 活動単位数確認表・・・該当者のみ
 - (5) 申込課題（作文）・・・パソコン等の使用可
- 6 その他
 - (1) 参加負担金一人25万円の内、10万円を県本部が補助します。
 - (2) 高校3年生の推薦については、4月以降の進路により、派遣辞退とならないよう
ご指導願います。

事務担当 財団法人福島県体育協会スポーツ少年団係
TEL024-524-3833 FAX024-521-7971

第 40 回日独スポーツ少年団同時交流
団員・指導者募集要項

公益財団法人日本体育協会日本スポーツ少年団は、別紙実施要項（案）にもとづき、各道府県スポーツ少年団との協力により、第 40 回日独スポーツ少年団同時交流を実施する。

本事業は過去 39 回の交流の成果を踏まえ、団活動の活発化と団員・指導者の更なる資質の向上、地域間交流の促進を目的として行うものであり、日本代表としてふさわしい団員・指導者を下記により募集する。

記

1. 派遣期間

2013 年 8 月 1 日（木）～8 月 18 日（日） 18 日間

＜日本団集合日（結団式）：7 月 31 日（水）＞

2. 派遣先

ドイツ連邦共和国〔受入機関：ドイツスポーツユエグント（dsj）〕

3. 主催

公益財団法人日本体育協会 日本スポーツ少年団

各道府県体育協会等 各道府県スポーツ少年団

4. 募集人数

団員・指導者 計 122 名

5. 共通テーマ

今、私たちにできる社会貢献 ～スポーツ活動で何ができるか～

6. 経費

派遣参加負担金 1 人 25 万円

※ドイツ滞在中の基本滞在費（宿泊費、食事代、施設入場料等）は上記負担金に含まれる。

※次のものは参加負担金に含まれず、個人負担となる。

- （1）渡航手続き（パスポート取得等）に要する経費
- （2）居住地から事前研修会々場までの往復交通費
- （3）居住地から結団式会場までと成田空港から居住地までの交通費
- （4）現地における各グループ内共通経費および個人的諸費用

7. 応募資格

＜団員＞

以下の条件を満たし、道府県スポーツ少年団本部長が推薦する平成 24 年度登録者で、平成 25 年度も引き続き登録が見込まれる者。

- （1）日本スポーツ少年団シニア・リーダー認定者（含む平成 24 年度認定見込者）、もしくは所定の活動単位（別紙参照）の合計が 20 単位以上の者で、かつ 1991 年 4 月 2 日～1998 年 4 月 1 日生まれの者（派遣年度に 16 歳～22 歳の誕生日を迎える者）。但し、申込多数の場合は、シニア・リーダー認定者を優先する。
- （2）将来、スポーツ少年団指導者として活躍が期待できる者。
- （3）心身強健で協調性のある者。
- （4）英語または独語で会話することが可能な者。
- （5）地域、県内、県外交流経験の豊富な者。

<指導者>

以下の条件を満たし、道府県スポーツ少年団本部長が推薦する平成 24 年度登録指導者（役職員登録者含む）で、平成 25 年度も引き続き登録が見込まれる者。

- (1) 日本スポーツ少年団有資格指導者（認定育成員・認定員）であり、グループワークの経験と能力が豊かで、長期間における団員の引率指導が的確にできる者。
- (2) 国際交流において、日本の代表としてふさわしい人格・見識を有する者。
- (3) 英語または独語で会話することが可能な者。
- (4) 原則として 40 歳までの者。

8. 提出書類

- (1) 推薦書・申込書（様式別添）
- (2) 作文

・下記課題について指定用紙もしくは原稿用紙に 1,600 字程度でまとめること。
（パソコン等の使用可）

〔団 員〕「日独同時交流で何を学ぶか、それを今後のスポーツ少年団活動にどのようにいかすか」

〔指導者〕「スポーツ少年団活動と日独同時交流経験の活用について」

9. 推薦期限

各道府県スポーツ少年団は、書類選考・面接試験等を経て派遣候補者を選び、来る 2013 年 3 月 15 日（金）【必着】までに推薦のこと。

10. 選考

日本スポーツ少年団にて、2013 年 3 月中に提出書類による第 1 次選考を行い、さらに第 2 次選考を兼ねた事前研修会を同 5 月 3 日～5 日（指導者）、5 月 4 日～5 日（団員）に開催し、その後、派遣者を決定する。

11. 選考結果通知

第 1 次選考結果は 2013 年 4 月上旬に、第 2 次選考結果については同年 5 月中旬に、それぞれ各道府県スポーツ少年団および本人宛に通知する。

12. 事前研修会

第 1 次選考による派遣内定者は、下記により開催する事前研修会に必ず参加のこと。なお、研修会の詳細日程および内容等については、第 1 次選考結果と併せて通知する。

〔期間〕

指導者：2013 年 5 月 3 日（金）～5 日（日） 2 泊 3 日

団 員：2013 年 5 月 4 日（土）～5 日（日） 1 泊 2 日

〔場所〕

東京都／国立オリンピック記念青少年総合センター

〒151-0052 渋谷区代々木神園町 3 番 1 号

第 40 回日独スポーツ少年団同時交流
基本日程

<日本団派遣>

○事前研修会

期日：2013 年 5 月 3 日（金）～5 日（日）：指導者 *5 月 3 日（金）13:00 までに集合（予定）

4 日（土）～5 日（日）：団 員 *5 月 4 日（土）9:30 までに集合（予定）

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）

○結団式

期日：2013 年 7 月 31 日（水） *7 月 31 日（水）14:00 までに集合（予定）

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京）

○出国（成田空港発）

期日：2013 年 8 月 1 日（木）

○帰国（成田空港着）

期日：2013 年 8 月 18 日（日）

第40回日独スポーツ少年団同時交流
市町村スポーツ少年団派遣団員・指導者推薦一覧

<団員：シニア・リーダー認定者による申込者>

推薦順位	氏名	面接所見および推薦理由

<団員：活動単位制による申込者>

推薦順位	氏名	活動単位数	面接所見および推薦理由
		単位	
		単位	

<指導者>

氏名	面接所見および推薦理由
	単位

第40回日独スポーツ少年団同時交流日本団 申込書〔団員用〕

フリガナ			男・女	西暦 年 月 日生	所属道府県	
氏名				2013年(平成25年)4月1日時点での年齢 (歳)		
身長	cm	体重	kg	血液型	型	
フリガナ				TEL(自宅)		
現住所	〒()			FAX(自宅)		
				TEL(携帯)		
				E-mail (PCのみ)		
学校名(勤務先)及び見込	高校・大学・専学		学部	学科 () 年在学中 卒業見込・卒業・入学見込		
保護者氏名	() 歳		派遣時の緊急連絡先	本人との続柄: TEL:		
保護者住所	〒()				TEL:	
得意なスポーツ、趣味、特技(具体的に)						
英会話	1. 良くできる 2. できる 3. 少しできる 4. できない			独会話	1. 良くできる 2. できる 3. 少しできる 4. できない	
シニア・リーダー資格 (いずれかに○)	保有	西暦	年3月認定			
	認定見込	西暦	年3月認定見込			
	資格なし	単位 (活動単位制による申込⇒単位数を別紙活動単位確認表へ記入のこと)				
所属スポーツ少年団	スポーツ少年団			団登録番号		
				シニア・リーダー認定番号	S	
団員活動歴	年	活動種目			団における役割	
現在の活動状況						
同時交流等参加経験 (民泊引受・同行)	西暦 年	(本人・家族)		西暦 年	(本人・家族)	
	西暦 年	(本人・家族)		西暦 年	(本人・家族)	
※ 所属団指導者の推薦	(推薦理由) 指導者氏名 印					
※ 所属市区町村 スポーツ少年団 本部長推薦	スポーツ少年団 本部長 印					パスポートサイズ 写真貼付 (3.5cm×4.5cm) 裏面にボールペンで 道府県名と氏名記入
第40回日独スポーツ少年団同時交流の日本団団員に申込みいたします。						
年 月 日 本人氏名 印 ※保護者氏名 印						

(注1) ※印以外は、申込者本人が記入のこと。

(注2) 本会およびドイン側受入団体より、急速重要な情報を連絡する場合がございますので、可能な限り、PCのEメールアドレス(フリーアドレス可)を取得し、本申込書記入欄にご記載いただきますようお願いいたします。

(注3) 申込書記載の個人情報は、事業実施に必要な事項及び諸連絡に利用します。なお、氏名・性別・所属県・所属スポーツ少年団・得意なスポーツ・趣味・特技は、事業報告書へ掲載します。また、この個人情報は、公益財団法人日本体育協会が管理し、法令などにより開示を求められた場合を除き、参加者の同意なしに第三者へ開示・提供することはありません。

活動調書をまとめた後に、申込書・課題を書いてください。

日独スポーツ少年団同時交流派遣団員活動調書

福島県スポーツ少年団

氏名〔 〕 所属団名〔 〕

◆ 参加のねらい（2，3点あげて、簡潔にまとめなさい。）

◆ 帰国後の活動（団活動に生かしたいことを簡潔にまとめなさい。）

◆ 国際交流事業への参加

- | | | | |
|-------------------------|----|-----|---|
| ○ 日独スポーツ少年団同時交流受入家庭 | 有（ | 年度） | 無 |
| ○ 日独スポーツ少年団同時交流関連行事への参加 | 有（ | 年度） | 無 |
| ○ その他の国際交流事業への参加 | 有（ | 年度） | 無 |
- 〔事業名： 〕

◆ スポーツ少年団の行事参加や運営協力

- | | | | |
|-------------------|----|-----|---|
| ○ 全国大会参加 | 有（ | 年度） | 無 |
| ○ 全国大会協力 | 有（ | 年度） | 無 |
| ○ 東北大会参加 | 有（ | 年度） | 無 |
| ○ 東北大会協力 | 有（ | 年度） | 無 |
| ○ 県スポーツ少年大会協力 | 有（ | 年度） | 無 |
| ○ ジュニア・リーダースクール協力 | 有（ | 年度） | 無 |
| ○ その他地域等の行事協力 | 有（ | 年度） | 無 |
- 〔行事名： 〕

◆ 現在の団活動状況（該当する活動○印。その程度を書いてください。一月や週の日数）

- | | |
|---------------|-----|
| 〔 〕 年間通しての活動 | 〔 〕 |
| 〔 〕 シーズン時の活動 | 〔 〕 |
| 〔 〕 行事等のみの参加 | 〔 〕 |
| 〔 〕 その他〔内容： 〕 | 〔 〕 |

◆ 団員指導時に心がけていることはどんなことでしょうか。

◆ 県リーダー会の活動

- | | |
|---------------|---|
| ○ 現在役員〔役員名： 〕 | 〕 |
| ○ 行事参加〔行事名： 〕 | 〕 |

活動単位数確認表

道府県名: 申込者氏名:

【派遣資格に係わる活動単位】

	活動内容	単位数	参加	参加年 取得年	詳細(役割など)	開催地
1	全国スポーツ少年大会参加	5				
2	ブロックスポーツ少年大会参加	5				
3	スポーツ少年大会(全国・ブロック・都道府県)、競技別交流大会(全国・ブロック・都道府県)、ジュニア・リーダースクールへの運営係員としての参加	5				
4	ジュニア・リーダー認定者	10			認定番号: -J-	
5	都道府県リーダー協会役員経験年数1年以上	10				
6	ブロックリーダー研究大会参加	5				
7	日独スポーツ少年団国際交流事業受入経験者	20				
8	認定員・認定育成員資格保有者	20			認定番号: N・K	
合計単位数						

※複数参加している場合は、それぞれ単位を与えることとする。

※7.「日独スポーツ少年団国際交流事業受入経験者」とは、過去5年以内に日本スポーツ少年団が主催したドイツスポーツユース団との国際交流の受入事業において、受入プログラムの運営および民泊受け入れ等を行った実績を持ち、所属道府県スポーツ少年団本部長が特に認めた者とする。

活動単位数数確認表(記入例)

道府県名: 申込者氏名:

【派遣資格に係わる活動単位】

	活動内容	単位数	参加	参加年 取得年	詳細(役割など)	開催地
1	全国スポーツ少年大会参加	5	○	2011年	第49回岐阜大会	岐阜県
2	ブロックスポーツ少年大会参加	5				
3	スポーツ少年大会(全国・ブロック・都道府県)、競技別交流大会(全国・ブロック・都道府県)、ジュニア・リーダー・スクールへの運営係員としての参加	5	○	2011年	第34回全国スポーツ少年団剣道交流大会運営係員	山梨県
4	ジュニア・リーダー認定者	10	○	2010年	認定番号: ××-J-××××××	
5	都道府県リーダー大会役員経験年数1年以上	10				
6	ブロックリーダー研究大会参加	5				
7	日独スポーツ少年団国際交流事業受入経験者	20	○	2012年	第39回同時交流受入プログラム企画・帯同、民泊受け入れ	
8	認定員・認定育成員資格保有者	20			認定番号: N・K	
合計単位数			40			

※複数参加している場合は、それぞれ単位数を与えることとする。

※7.「日独スポーツ少年団国際交流事業受入経験者」とは、過去5年以内に日本スポーツ少年団が主催したドイツスポーツユースとの国際交流の受入事業において、受入プログラムの運営および民泊受け入れ等を行った実績を持ち、所属道府県スポーツ少年団本部長が特に認めた者とする。

第40回日独スポーツ少年団同時交流（派遣）申込課題〔団員〕
 テーマ「日独同時交流で何を学ぶか、それを今後のスポーツ少年団活動にどのようにいかすか」

(道府県) (氏名) No. (1)

[illegible]

(道府県) (氏名) No. ()

[illegible]

※足りない場合はコピーして使用してください(パソコン・ワープロ等の使用可)。

第40回日独スポーツ少年団同時交流日本団 申込書〔指導者用〕

フリカ'ナ			男・女	西暦 年 月 日生	所 属 道 府 県	
氏 名				2013年(平成25年)4月1日時点での年齢 (歳)		
身 長	cm	体 重	kg	血 液 型	型	
フリカ'ナ	〒 ()			TEL(自宅)		
現 住 所				FAX(自宅)		
				TEL(携帯)		
				E-mail (PCのみ)		
職 業 (勤務先)				TEL(勤務先)		
				FAX(勤務先)		
連絡先	氏名	(本人との続柄)				
	住所	〒 ()			TEL(自宅)	
				TEL(携帯)		
得意なスポーツ、趣味、特技(具体的に)・				少年団での指導スポーツ		
英 会 話	1. 良くできる 2. できる 3. 少しできる 4. できない			独 会 話	1. 良くできる 2. できる 3. 少しできる 4. できない	
ス ポー ツ 少 年 団 と の 関 係	認定資格番号	N・K	指導歴	年	指導団名	スポーツ少年団
	市区町村スポーツ少年団				道府県スポーツ少年団	
	における役割				における役割	
	スポーツ少年団での経歴 (研修会、講習会参加、大会引率等)					
	西暦 年		西暦 年			
交 流 歴 (ドイツ)	(派遣・受入、民泊引き受け、同行等)					
	西暦 年		西暦 年			
	西暦 年		西暦 年			
その他海外渡航歴						
引率 心構え						
※	(推薦理由)					
市区町村 (道府県) 本部長の 推 薦						
	スポーツ少年団 本部長 印					
第40回日独スポーツ少年団同時交流の日本団指導者に申込みをいたします。					パスポートサイズ 写真貼付 (3.5cm×4.5cm) 裏面にボールペンで 道府県名と氏名記入	
年 月 日						
本人氏名					印	

(注1) ※印以外は、申込者本人が記入のこと。

(注2) 本会およびドイツ側受入団体より、急遽重要な情報を連絡する場合がございますので、可能な限り、PCのEメールアドレス(フリーアドレス可)を取得し、本申込書記入欄にご記載いただきますようお願いいたします。

(注3) 申込書記載の個人情報は、事業実施に必要な事項及び諸連絡に利用します。なお、氏名・性別・所属県・所属スポーツ少年団・得意なスポーツ・趣味・特技は、事業報告書へ掲載します。また、この個人情報は、公益財団法人日本体育協会が管理し、法令などにより開示を求められた場合を除き、参加者の同意なしに第三者へ開示・提供することはありません。

第40回日独スポーツ少年団同時交流（派遣）申込課題〔指導者〕
テーマ「スポーツ少年団活動と日独同時交流経験の活用について」

(道府県) (氏名) No. (1)

[illegible]

230

460

690

805

No. ()

[illegible]

805

※足りない場合はコピーして使用してください(パソコン・ワープロ等の使用可)。

第40回日独スポーツ少年団同時交流実施要項（案）

本事業は、日独両国のスポーツ少年団の優れた青少年および指導者の相互交流により友好と親善を深め、国際的能力を高めると共に、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的に、2011年に調印した「日独スポーツ少年団国際交流協定書」にもとづき、次のとおり実施するものである。

1. 主催

公益財団法人 日本体育協会 日本スポーツ少年団
各道府県体育協会 各道府県スポーツ少年団

2. 後援

文部科学省（予定）

3. 期日・期間

〔派遣〕 2013年8月1日（木）～8月18日（日） 16泊18日
＜日本団集合（結団式）：7月31日（水）＞

〔受入〕 2013年7月 日（ ）～ 月 日（ ） 16泊17日

4. 派遣・受入人数および構成

両国ともそれぞれ125名を派遣・受入する。日本団の構成はブロック単位のグループ編成とし、ドイツ各州・各団体とのパートナー方式で交流する。

〔団員・指導者〕 122名（指導者は1グループ原則1名）

〔団長団〕 3名

計125名

5. 日本団

（1）派遣資格

〔団 員〕

日本スポーツ少年団シニア・リーダー認定者（含む平成24年度認定見込者）、もしくは所定の活動単位取得者で、かつ1991年4月2日～1998年4月1日生まれ（派遣年度に16歳～22歳の誕生日を迎える者）の平成24・25年度登録者。但し、申込者多数の場合は、シニア・リーダー認定者を優先する。

〔指導者〕

日本スポーツ少年団有資格指導者（認定育成員・認定員）で、原則として40歳までの平成25年度登録指導者（役職員登録者含む）。

（2）推薦方法

別に定める募集要項により、各道府県スポーツ少年団が推薦する。

（3）日本団の決定

第1次選考：書類審査

第2次選考：第1次選考合格者を対象とする事前研修会

〔期間〕 指導者5月3日～5日、団員5月4日～5日

〔会場〕 国立オリンピック記念青少年総合センター

（4）グループ別事前研修会の実施

派遣決定通知後、全体での事前研修会の結果を踏まえ、共通テーマ・その他準備に関しさらに研修を積むため、各グループの指導者を中心にグループ別の事前研修会を実施する。

6. ドイツ団受入担当区分等

- (1) 来日直後および帰国直前における全体プログラム期間中は、日本スポーツ少年団が担当する。

＜全体プログラム（前半）＞

期間： 月 日～ 日（2泊）〔未定〕

場所：未定

＜全体プログラム（後半）＞

期間： 月 日～ 日（2泊）〔未定〕

場所：東京都〔宿舍未定〕

- (2) 全国各地における滞在（地方プログラム）期間中は、関係道府県スポーツ少年団およびそのグループ内において担当する。

- (3) 地方プログラムの実施にあたっては、各受入グループ幹事県を中心とした委員会を設け、その計画と実行にあたる。

7. 経費について

〔派遣〕

負担金 1人25万円

〔受入〕

- (1) 全体プログラム期間中の受入経費については、日本スポーツ少年団が負担する（各グループ離散集合費を含む）。

- (2) 地方プログラム期間中の受入経費については、関係道府県スポーツ少年団が負担する。なお、日本スポーツ少年団が手配する受入通訳の謝金については、各グループ幹事県より提出される通訳業務報告に基づき、日本スポーツ少年団が負担する。

8. 共通テーマ

交流における研修成果をより高めるため、両組織間で設定した共通テーマに基づき、両国団員の身近な問題をディスカッションなど様々な形態と方法により研究する。共通テーマは下記の通りとする。

共通テーマ：

今、私たちにできる社会貢献 ～スポーツ活動で何ができるか～